

平成 29 年度 結核医療関係者研修会

青森県の結核罹患率は全国平均を下回っていますが、東北地方の中では最も高くなっています。また、全国的な傾向として、結核の患者は高齢者が多く、青森県でも 70 歳代以上の患者が約 7 割を占めています。

昭和の結核高まん延期を過ごしてきた現在の高齢者は、結核既感染者が多く、高齢になり、糖尿病等の合併症、免疫抑制剤やステロイド等の治療により免疫力が低下した際に発症することから、年々、高齢者の結核が増加しています。

一般的な肺結核の症状としては、咳、痰、発熱（微熱）、食欲不振、倦怠感、体重減少などがありますが、高齢者の場合、症状がわかりにくく、結核に気づかないまま病状が進行していることがあります。

今回の研修会では、公益財団法人結核予防会結核研究所 研究主幹 伊藤邦彦 先生に「高齢者の結核の対策と診断」と題し、高齢者の結核対策支援等について御講演いただきます。

医師・薬剤師・保健師・看護師・介護職員等、多くの保健・医療・福祉に携わる関係者の皆様の御参加をよろしくお願ひします。

◎開催日時：平成 29 年 1 月 18 日(土) 14 時 30 分～17 時 00 分

◎受付：14 時 00 分～

◎会場：青森県観光物産館「アスパム」 6 階 八甲田

(所在地：〒030-0803 青森県青森市安方一丁目 1 番 40 号 TEL：017-735-5311)

◎主催：青森県、独立行政法人国立病院機構青森病院

◎参加費 無料

◎申込書 別紙のとおり

★プログラム★

14：30 開会挨拶

独立行政法人国立病院機構青森病院 院長 和賀 忍

14：35～15：05 情報提供

(1)「青森県の結核の概要」

青森県健康福祉部保健衛生課 主幹 佐藤 伸代

(2)「屋外活動『散歩』を計画しました」

「介護施設における患者受入に対する意識調査第 1 報」

独立行政法人国立病院機構青森病院 看護師長 西塚 弥生

15：05～17：00 講演 (質疑含む)

演題 「高齢者の結核の対策と診断」

講師 公益財団法人結核予防会結核研究所 研究主幹 伊藤 邦彦

座長 独立行政法人国立病院機構青森病院 内科医長 坂本 佳穂

17：00 閉会

問い合わせ先：青森県健康福祉部保健衛生課 感染症対策グループ 佐藤
(TEL：017-734-9284 FAX：017-734-8047)

